光村ポケット

中学校 国語

どう使う？「語彙ブック」活用アイデア



軽井沢風越学園教諭
光村図書 中学校「国語」編集委員
甲斐 利恵子 先生

LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。

光村図書

教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

どう使う？「語彙ブック」活用アイデア

語彙力を高めるには、意味を理解している語句を増やすだけでなく、実際に使う中で自分の言葉にし、使いこなせる語句を増やすことが大切です。ここでは、いつもの授業の中で「語彙ブック」を効果的に活用するためのヒントをご紹介します。

「語彙ブック」で、文学の読みを深める

2年 P.270-271



文学作品を読み深めるときには、生徒がさまざまな言葉を使いながら考え合うためのコミュニケーションツールとして「語彙ブック」が役立ちます。

例えば、登場人物の心情や、人物像について語り合う場面。「語彙ブック」をきっかけに言葉のもつ意味の広がりを意識できると、読みがぐっと深まります。

ここがポイント　言葉の広がりを共有する

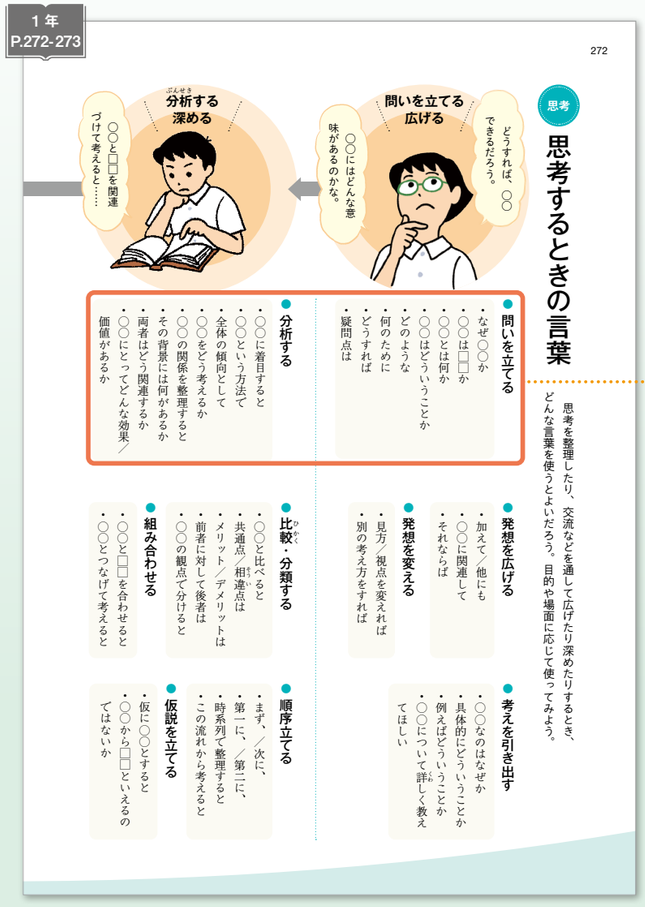
登場人物がどんな人物かを考える際、語彙ブックの「人物を表す言葉」（2年p.270）が手がかりになります。「真面目」を例に、言葉の背後にある広がりをクラスで共有することで、その人物にふさわしい表現を比較しながら考えることを促します。言葉の膨らみや厚みを共有し、周辺の言葉を探ることは、人物像を多面的に捉える助けにもなります。

読むことの学習で……

- 2年 アイスプラネット
- 2年 ヒューマノイド
- 2年 走れメロス
- 3年 握手

「語彙ブック」で、問いを立てて思考を深める

1年 P.272-273



物事を比較・関連付ける言葉や問いを立てるときの言葉を知り、使ってみることは、新たな視点をもたらします。話し合うときや、意見文などの文章を書くときに取り入れ、思考を深めるヒントにしましょう。

ここがポイント　探究・分析する視点に生かす

スピーチや意見文の題材が決まっても、どのように深めていけばよいかでつまずくことはしばしばあります。そんなとき、語彙ブックの「思考するときの言葉」（1年p.272）は探究的な視点で問いを立てたり、思考を深めたりする助けになります。

「問いを立てる言葉を使って意見文を書こう」「『～に着目すると』を使って考えを書いてみよう」など、生徒が言葉の効果を体感できるよう活動に取り入れることが大切です。

話すこと・聞くこと、書くことの学習で……

- 1年 情報を整理して説明しよう
- 1年 話題や展開を捉えて話し合おう
- 2年 適切な根拠を選んで書こう
- 3年 説得力のある構成を考えよう
- 3年 論理の展開を意識して書こう

文学の学習に使える！　ほかの学年の語彙ブック

- **語彙ブック1年【言動】心情・行為を表す言葉**……喜怒哀楽の心情や、日常の行為・行動を表す表現を紹介。
- **語彙ブック3年【描写】心の動きを表す言葉**……心情を表す言葉を、3年間で学んだ教材とともに紹介。

話すこと・聞くこと、書くことの学習に使える！　ほかの学年の語彙ブック

- **語彙ブック2年【思考】抽象的な概念を表す言葉**……抽象的な概念を表す言葉を、類義語・対義語とともに例示。
- **語彙ブック3年【思考】批評するときの言葉**……評価や判断、ものの見方を表す言葉を、観点ごとに整理して紹介。

活用術　前学年の「語彙ブック」を活用する



「語彙ブック」表紙の二次元コードからは、小学校「国語」の巻末資料「言葉の宝箱」に掲載の語句や、前学年までの「語彙ブック」の内容を確認できます。

活用術　付箋やペンを使って、自分だけの「語彙ブック」にする

「語彙ブック」は、言葉を広げる足がかりです。使いたい言葉に印をつけたり、新しく出会った言葉を書き込んだりして、自分だけの「語彙ブック」を作っていきましょう。

「こんな授業ができます！」令和7年度版中学校国語
言葉は使ってこそ身につく！
「語彙ブック」指導アイデア集
福井雅洋先生（厚木市立南毛利中学校）
日々の授業の隙間時間などで手軽に取り組むことのできる、ミニ活動のアイデアを紹介しています。

こちらから

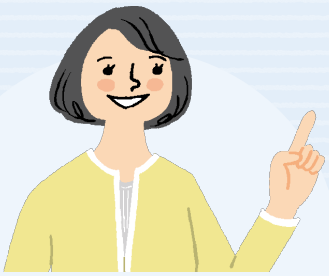
言葉を豊かにするためには、小さな経験の積み重ねが大切です。「語彙ブック」を楽しみ、短文作りなどの手軽な活動を授業に取り入れるのも有効ですよ。



生徒の本気を引き出す！

達人の言葉かけ

生徒の言葉を豊かにし、言葉に立ち止まる姿勢を育てるための、達人の「言葉かけ」をご紹介します。



軽井沢風越学園教諭
光村図書 中学校「国語」編集委員
甲斐 利恵子 先生



五感を生かして書くときに

どんな音がした？
空の色は？

随筆などでなかなか書けない生徒に向けて、描写する場面や風景を想起させて言葉を引き出すための言葉かけです。

「そのとき、どんなものが見えていたの？」「そのときの気温は？」など、具体的に問いかけることで描写するときの観点が身についてきます。描写に着目して「書く」ことを体験することで描写を味わうための基礎力が育ち、文学作品を「読む」ときにも生きてきます。

言葉を引き出したいときに

別の言葉で言うと？　つまり？
副詞を入れるとしたら？

生徒に対して言い換えを促し、別の言葉を引き出す言葉かけです。「副詞を入れるとしたら？」のように、品詞に着目して言葉を広げるのも有効です。

人物を「優しい人」と端的に表すこともできますが、「困っている人を決して放っておけない人。」のように一文で説明すると、語り合いの場面でより具体的なイメージとして共有できます。別の言葉での言い換えを意識する習慣をつけさせることで、「もっとぴったりの言葉があるのではないか」といつも自分に問い、言葉に立ち止まる姿勢が育ちます。

また、高校入試では、登場人物の心情や言動を読み取り、本文とは異なる言葉で表した選択肢から答えを選ぶような問題がしばしば出題されます。言い換える力は、高校入試にも生きてきます。

光村図書

教授用資料
発行日 2026年9月
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト 秋葉あきこ
デザイン 田中真琴

光村図書ウェブサイト
光村図書